

来週の金融市場見通し



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会/一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL: [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

< 9/23 ~ 9/27 >

米連邦準備理事会(FRB)は米連邦公開市場委員会(FOMC)で、政策金利の誘導目標を0.5%引き下げました。物価上昇が落ち着く中、景気や雇用の下振れを回避するために大幅な利下げを決めた模様です。年内残り2回の会合で計0.5%の利下げ方針が示されましたが、市場の一部ではより大幅な利下げへの期待もくすぶります。他方、日銀は金融政策の現状維持を決めました。来週は、FRB高官の発言に加え、内外の経済指標なども確認しながら、日米金融政策会合後の方向感を探ることになりそうです。

◆株価：底堅い展開か

【予想レンジ】日経平均株価

(来週) 37,000~39,500円 (9月) 32,000~42,000円



FOMCでは、0.5%の大幅な利下げが決まりました。来週の株価は、政策金利の引き下げが、米経済を支えるとの期待感が支えとなり、底堅い展開となりそうです。事業法人による自社株買いとみられる資金流入が高水準で継続していることも好材料です。ただ、日銀の植田総裁による金融政策決定会合後の記者会見を受けて円高が進行すると、市場は嫌気し、週明けの株式市場は下落して始まる可能性があります。警戒が必要です。

◆為替：方向感乏しい

【予想レンジ】ドル円レート

(来週) 140.5~144.5円 (9月) 138.0~151.0円



ドル円は、方向感の乏しい展開が見込まれます。9月のFOMCで0.5%の大幅な利下げが実施されたものの、パウエルFRB議長は、インフレが依然、幾分高い水準にあるとし、今後の緩和は急がないと発言しました。それを受け、ドル円の下落余地は限定的とみられる一方、年内あと2回程度の利下げ観測が根強い中、米長期金利の上昇余地も乏しく、ドル円の上値余地もまた限られそうです。9月の米雇用統計発表までは動きづらい展開となりそうです。

◆長期金利：一進一退

【予想レンジ】長期金利(新発10年債利回り)

(来週) 0.80~0.90% (9月) 0.80~1.20%

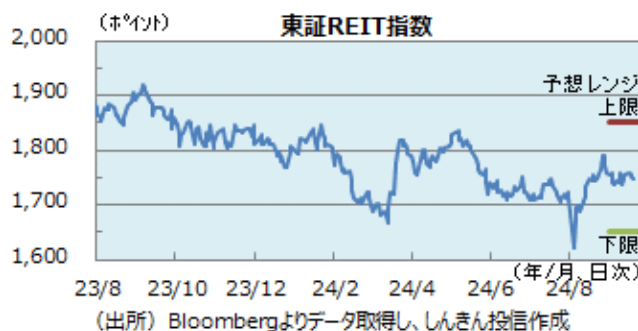


米長期金利が、8月の米小売売上高が市場予想を上回ったことや、今後の米利下げペースが緩やかになるとの見方などから上昇したことを受け、国内の長期金利も上昇する動きになりました。日銀金融政策決定会合は現状維持で影響は限定的でした。米利下げが意識されるものの、利下げペースが緩やかになると見込まれることや、日銀が利上げに慎重な姿勢を示す中、米金利をにらみながらの一進一退の動きが続く可能性があります。

◆Jリート：方向性を探る

【予想レンジ】東証REIT指数

(来週) 1,700~1,800ポイント (9月) 1,650~1,850ポイント



来週のJリート市場は、日銀金融政策決定会合を通過し方向性を探る展開が見込まれます。米国では0.5%の大幅な利下げが決定され、今後も金融緩和的な政策が継続される見通しであることは支援材料です。ただし、日銀の追加利上げをめぐるスタンスや、27日開票の自民党総裁選の結果が金融市場に与える影響について見定める必要があります。とはいえ、リート市場は下落した場合でも、下値については限定的になりそうです。

■来週の主な内外スケジュール

	国内	海外
9/23 月	◎東京市場休場（振替休日）	ユーロ圏製造業PMI（9月、速報値） 豪中銀・金融政策委員会（24日まで）
9/24 火		米消費者信頼感指数（9月） 米FHFA住宅価格指数（7月） 米S&Pコアジョック ケース・シー住宅価格指数（7月） 独IFO景況感指数（9月）
9/25 水	企業向けサービス価格指数（8月）	米新築住宅販売件数（8月） 米2年国債入札
9/26 木	日銀金融政策決定会合議事要旨（7/30・31開催分） 40年利付国債入札	米GDP統計（24/4-6月期、確報値） 米中古住宅販売成約指数（8月） 米耐久財受注（8月、速報値） ユーロ圏マネーサプライ（8月） 米5年国債入札
9/27 金	自民党総裁選 東京都区部・消費者物価指数（9月） 景気動向指数（7月、確報値）	米ミンガン大学消費者マインド指数（9月、確報値） 米卸売在庫（8月、速報値） 米個人所得・個人消費支出（8月） ユーロ圏消費者信頼感指数（9月、確報値） 米7年国債入札

（注）スケジュールの内容、日程が変更になる可能性があります。

（出所）各種報道を基に、しんきん投信作成

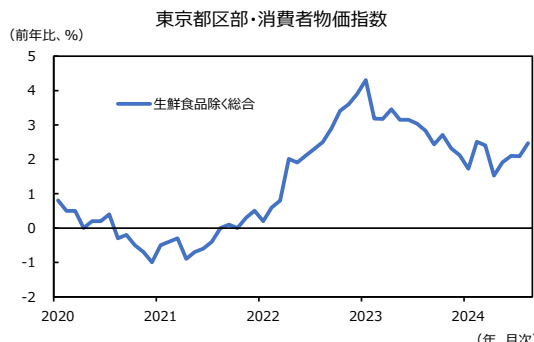
■来週の注目点

東京都区部・消費者物価指数（9月）

9月27日（金）8時30分発表

8月の東京都区部・コア消費者物価指数（コアCPI、生鮮食品を除く総合）は前年比2.4%と前月（同2.2%）から伸びが加速しました。需給がひっ迫した米類を中心に食料品価格が大幅に上昇したほか、既往の円安の影響でエネルギーや耐久財の価格の伸びが拡大しました。

9月のコアCPIは伸びが縮小すると見込まれます。一時的に終了していた政府による電気・ガス代の補助が9月（8月使用分）から再開されることで、エネルギー価格の伸びが縮小することが予想されます。



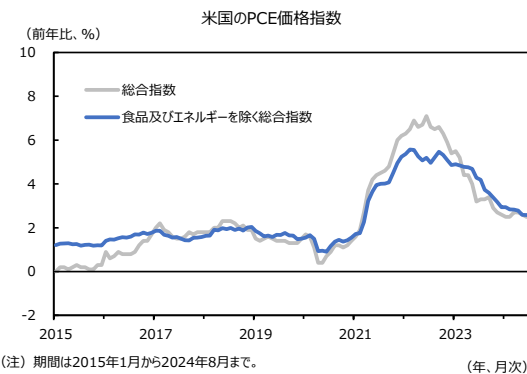
（注）期間は2020年1月から2024年8月まで。
（出所）総務省よりデータを取得し、しんきん投信作成

米個人所得・個人消費支出（8月）

9月27日（金）21時30分発表

7月の米個人消費支出（PCE）は前月比0.5%と増加しました。また、総合価格指数は前年比2.5%、食料とエネルギーを除くコア価格指数は同2.6%と前月から伸びが横ばいになりました。

8月のPCEは前月比0.3%増程度、総合価格指数は前年比2.3%程度、コア価格指数は同2.7%程度の伸びが想定されます。借入れコストの高止まりや労働市場の減速などが個人消費の逆風となることで、インフレ圧力は緩やかに落ち着くとみられます。



（注）期間は2015年1月から2024年8月まで。
（出所）米商務省、Bloombergよりデータを取得し、しんきん投信作成

<本資料に関してご留意していただきたい事項>

※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。

※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

※特定ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】**■投資信託に係るリスクについて**

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

（お客様に直接ご負担いただく費用）

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

（保有期間中に間接的にご負担いただく費用）

- ◆ 運用管理費用（信託報酬）・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用（手数料等）の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。